

2025年9月期 決算説明資料

株式会社アミファ

2025年11月14日

amifa

スタンダード市場(証券コード7800)

『We are smile producers!』

全ては笑顔のために



2025年 9 月期 (25/ 9 期) 決算概要

I

amifa

25/9期決算の概要

【外部環境】

- + 雇用・所得環境の改善
- + インバウンド需要の拡大
- インフレや円安の継続による消費者物価の上昇
- 米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク

先行き不透明な状況で推移

【内部環境】

- + 新企画、新商品提案に積極的に取り組む
- + 主要顧客に向けての販売に注力
- + 売場提案力の強化、売れ筋商品の集中などによる販売
- + 継続した原価低減
- + 販売費及び一般管理費の削減

売上高は設立以来最高を記録。
営業利益は、前期の赤字決算から
大幅に改善し、黒字決算で着地

25/9期損益概要（対24/9期）

売上高は、前年同期比240百万円増加（2.8%増）の8,842百万円
円安環境が継続する中でも売場提案力の強化や売れ筋商品への集中などによる販売と
継続した原価低減、販売費及び一般管理費の削減を図ることで大幅な増収増益を達成

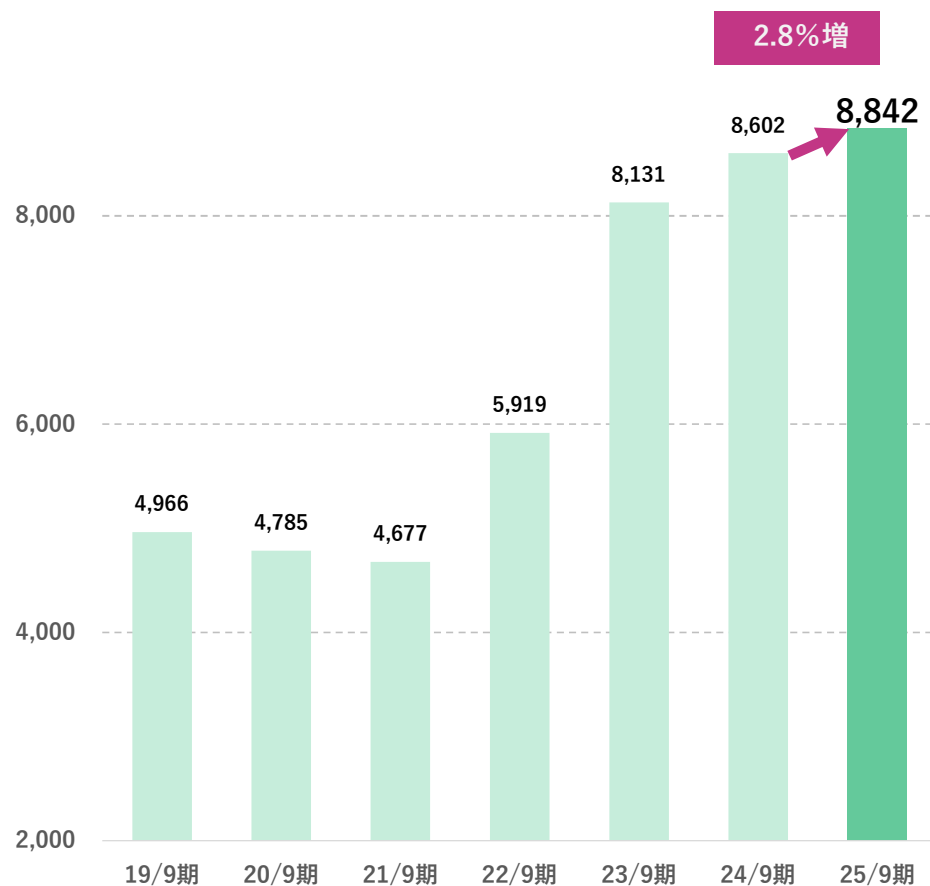
（金額：百万円）

	24/9期	25/9期	対前年同期比増減	
			金額	%
売上高	8,602	8,842	240	2.8%
営業利益	(△3.5%) △ 298	(3.1%) 270	568	－%
経常利益	△ 286	239	525	－%
当期純利益	△ 283	194	478	－%
1株当たり 当期純利益(円/株)	△ 94.20	64.44	158.64	－%

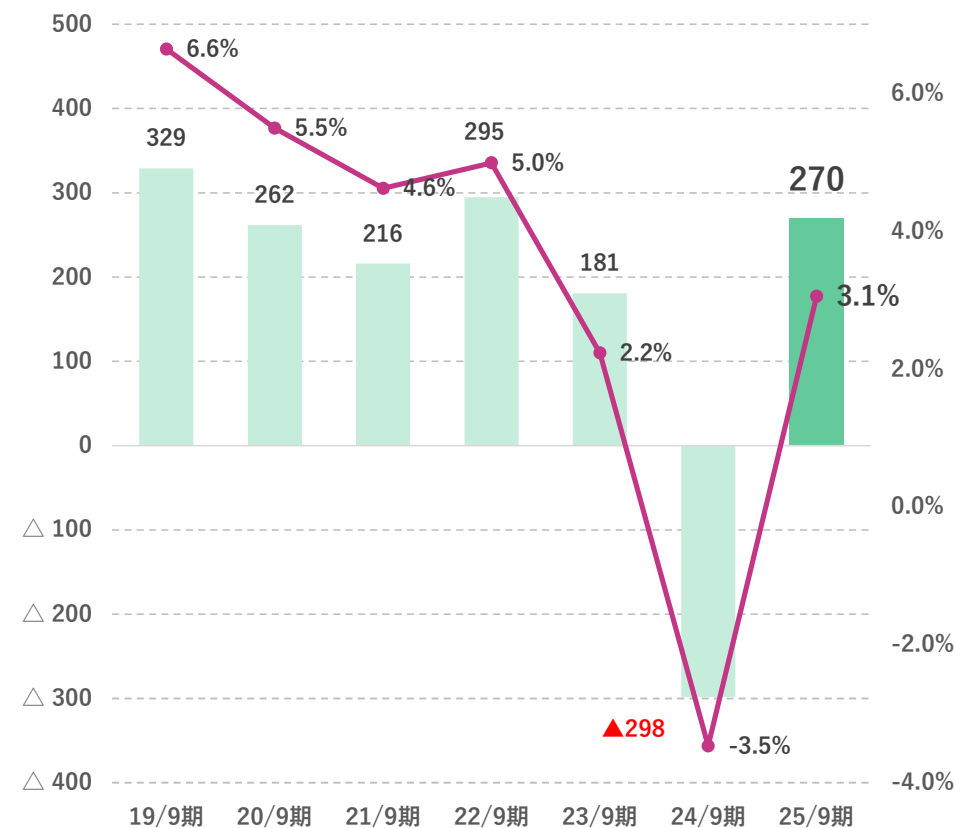
売上高・営業利益 年次推移

(金額：百万円)

売上高は着実に増収

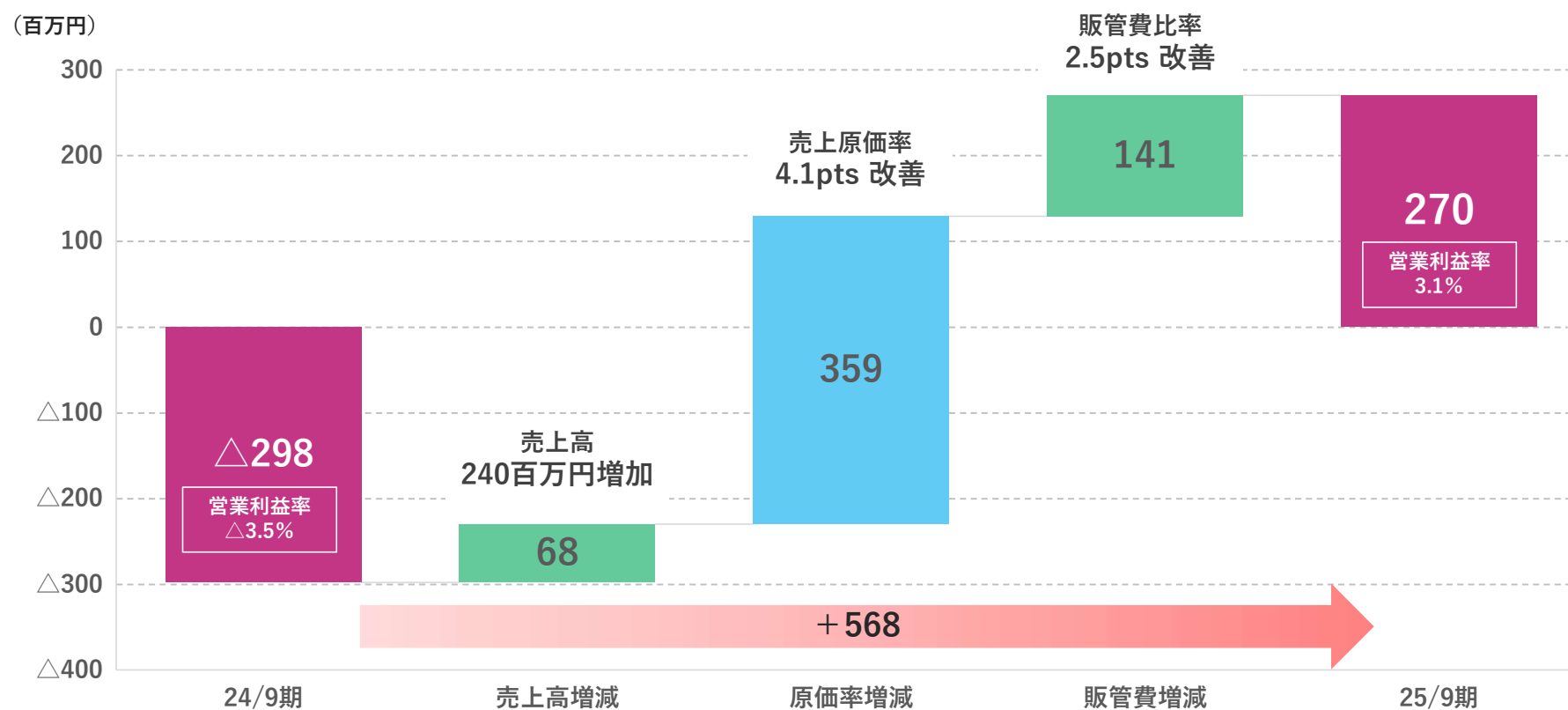


営業利益は大幅に増益



営業利益増減内訳（対24/9期）

売上高の増加による増益効果に加え、円安環境の中でも原価低減および海外物流のコスト削減等により、粗利改善も進み、また商品評価損の大幅な減少もあり、原価率は前年同期比で4.1pts改善。販売費及び一般管理費は削減努力により販管費比率は前年同期比2.5pts改善。その結果、営業利益は568百万円増の270百万円となった。



25/9期損益概要（対業績予想）

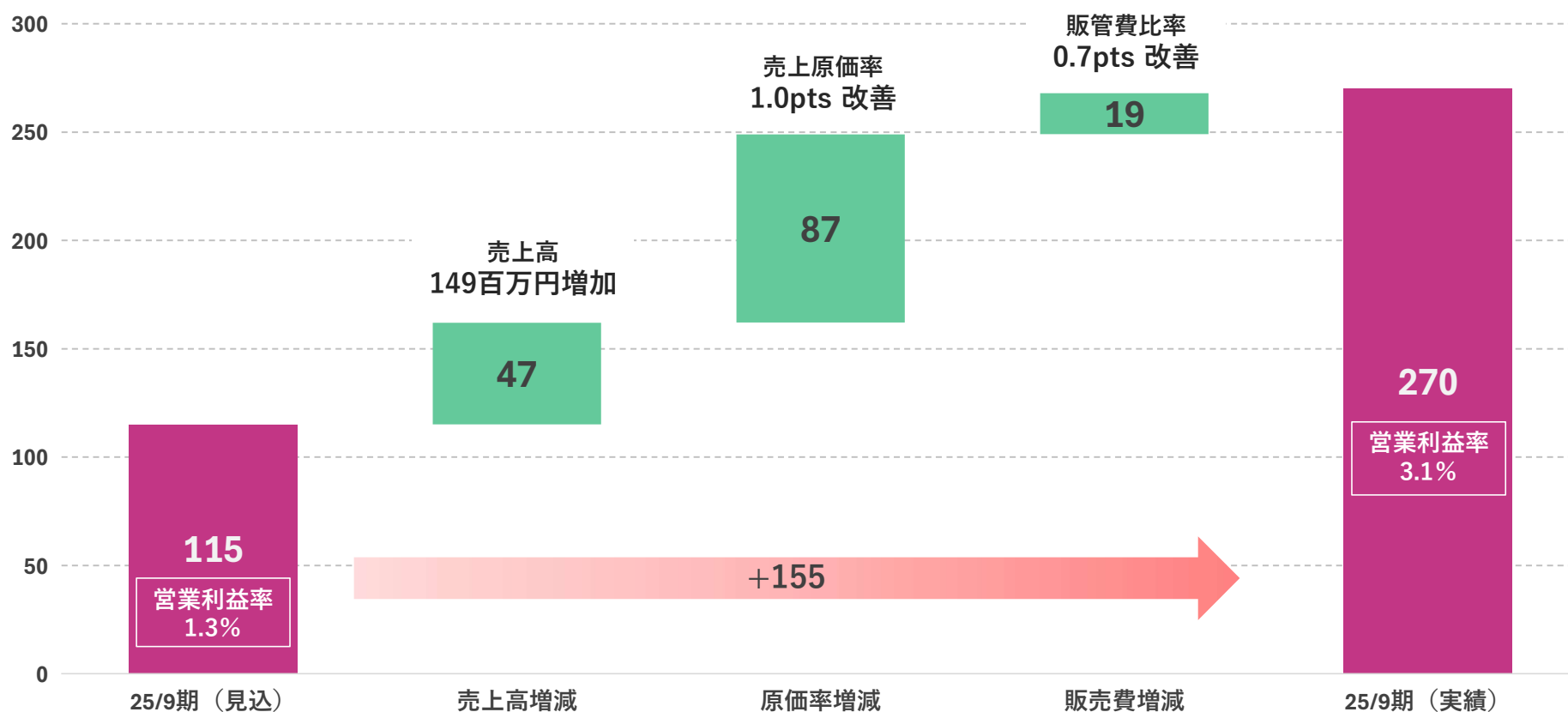
売上高は業績予想を超えて着地。営業利益は売上高伸長、コスト・経費の改善および評価損の減少により改善。当期純利益は、法人税等の改善により、大幅に業績予想を超えて着地。

（金額：百万円）

	業績予想 (2025年8月14日開示)	実績	対予算比増減	
			金額	%
売上高	8,690	8,842	152	1.8 %
営業利益	(1.3%) 115	(3.1%) 270	155	135.1 %
経常利益	85	239	154	181.5 %
当期純利益	30	194	164	548.3 %
1株当たり 四半期純利益(円/株)	9.94	64.44	54.50	648.3 %

営業利益増減内訳（対業績予想）

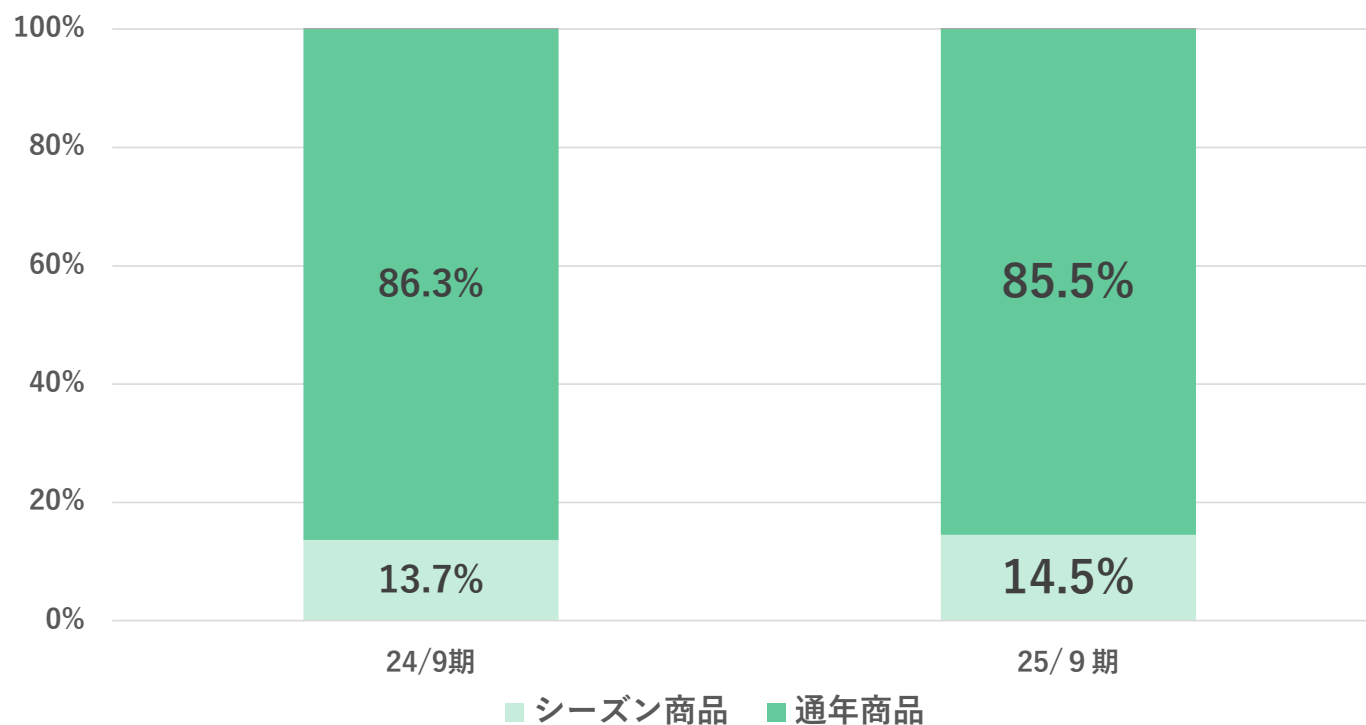
売上高は着地見込に対し、149百万円上回って着地。原価低減および海外物流のコスト削減の効果が想定以上であったこと、商品評価損も見込より大幅に減少したことにより、売上原価率は1.0pts改善。
その結果、営業利益は155百万円増の270百万円となった。



「シーズン商品」と「通年商品」売上高構成比率

「通年商品」構成比は横ばい

生産性アップと売上安定化を目指した「通年商品比率アップ戦略」の効果により
通年商品構成比は85.5%と高い水準で横ばい

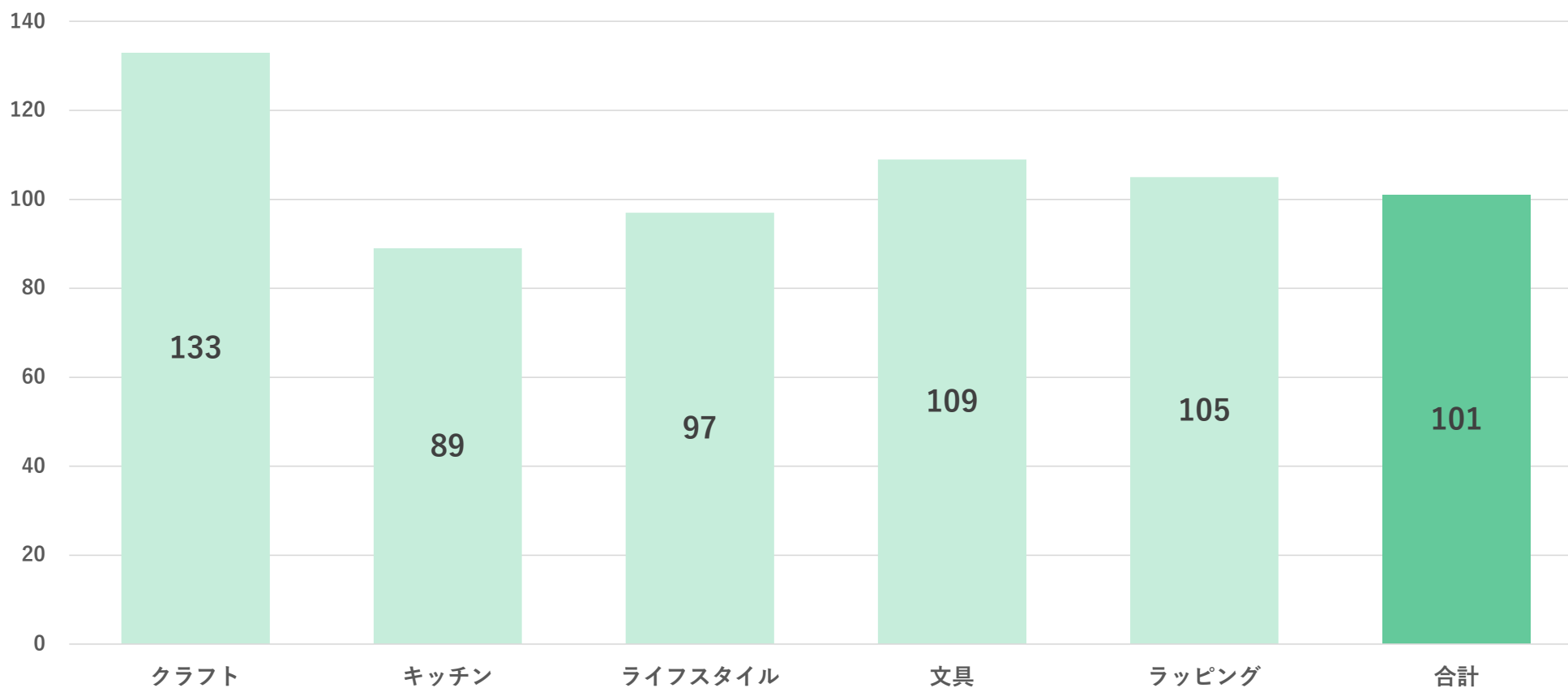


ワンプライス商品群別売上増減（対24/9期）

ワンプライス

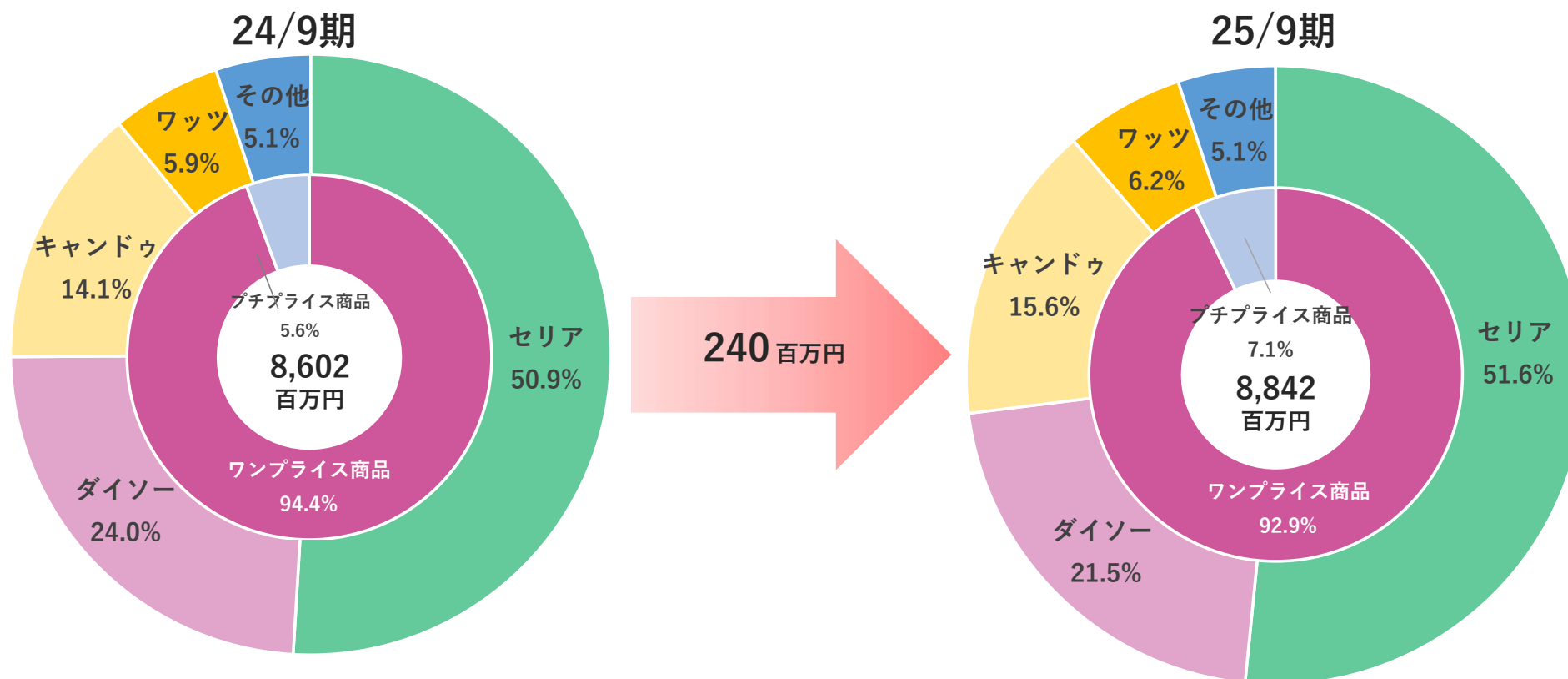
クラフト、文具、ラッピングが伸長

（24/9期 = 100）



顧客別売上高推移（対24/9期）

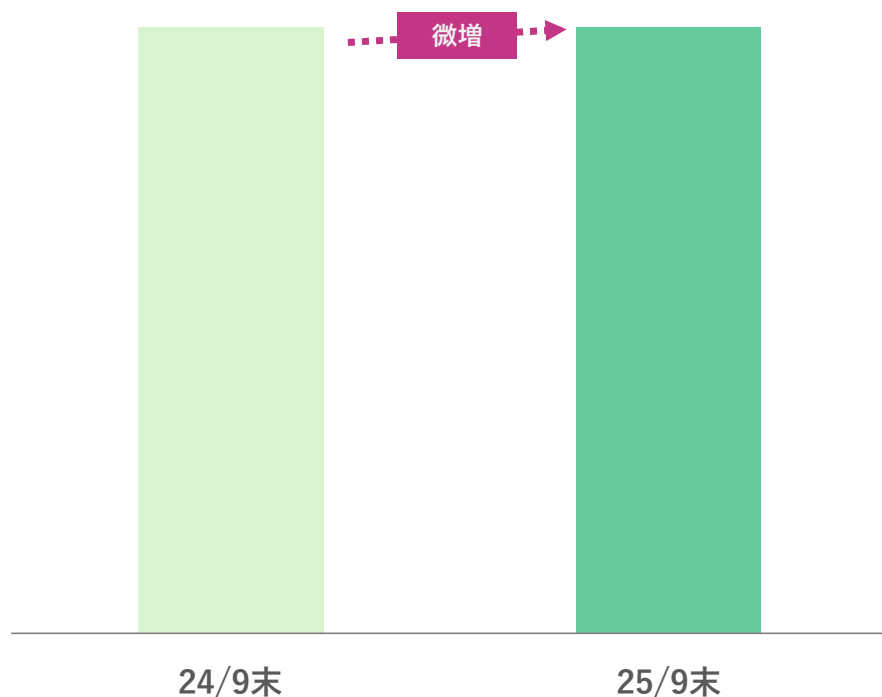
セリア・キャンドゥ向け売上げはライセンス商品の寄与もあり着実に増加。
ダイソー向け売上げは減少、ワッツ向けは前年を上回る売上げを確保。
プチプライス商品は売上金額、構成比率ともに伸長。



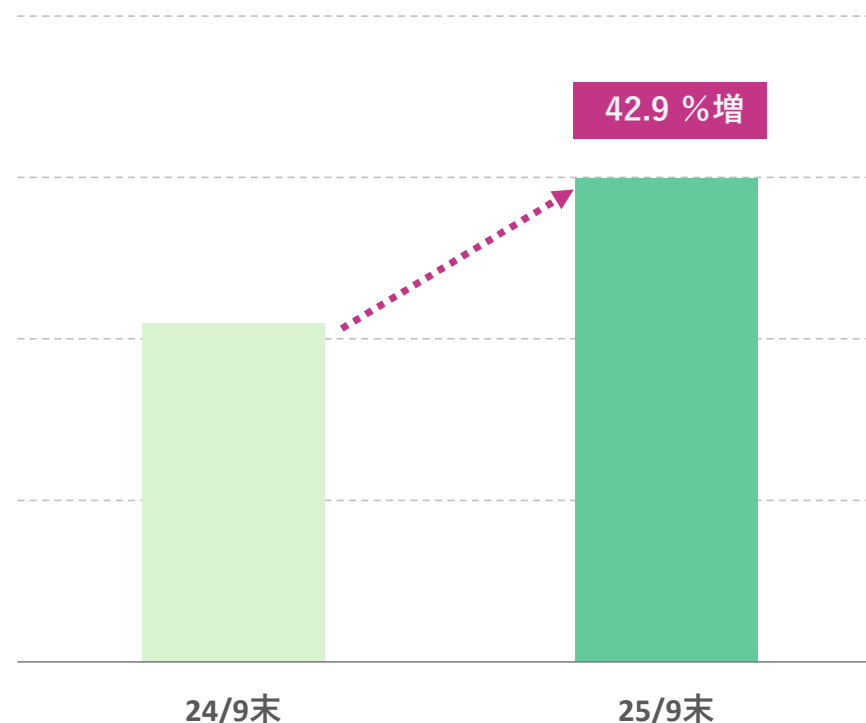
従業員 1 人あたり売上高・付加価値額推移

売上高は前期より増加するも、人員数も増加したことにより従業員 1 人あたり売上高は横ばい。
円安環境の中でも原価低減および物流コスト削減等により、1 人あたり付加価値額は大幅に増加。

従業員 1 人あたり売上高



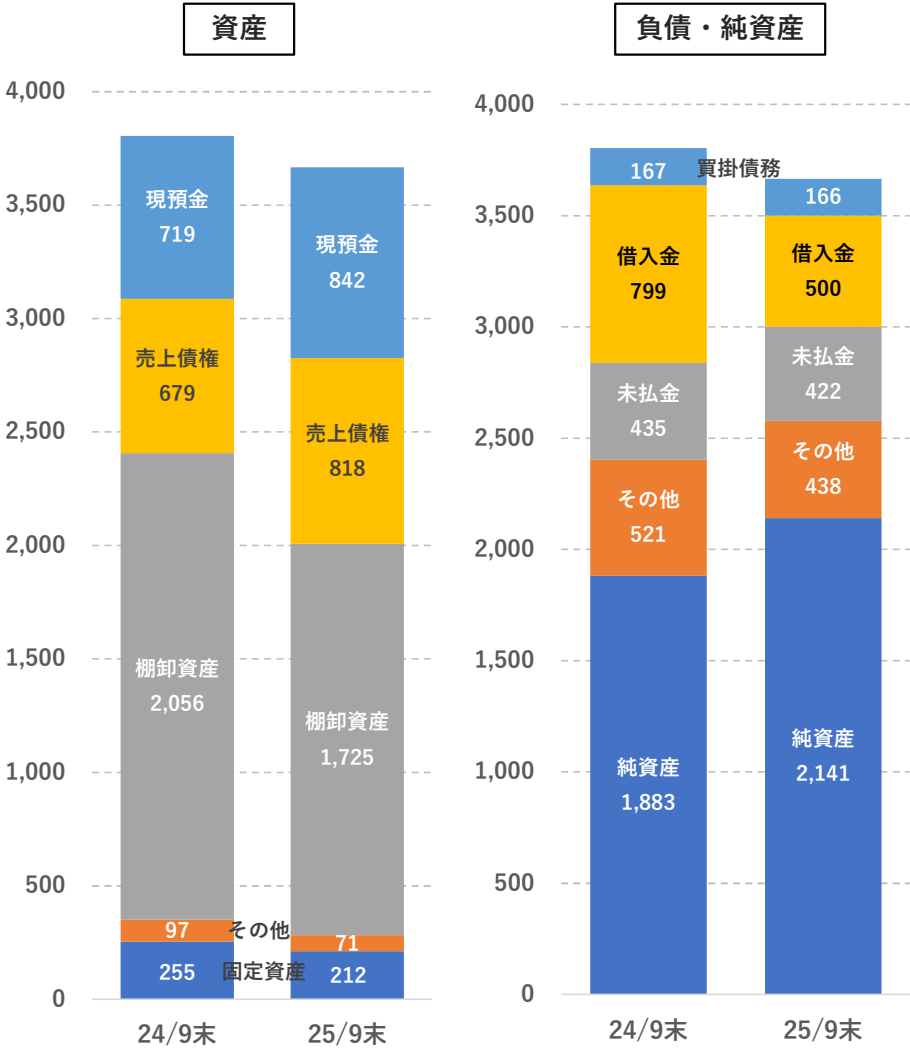
従業員 1 人あたり付加価値額



貸借対照表

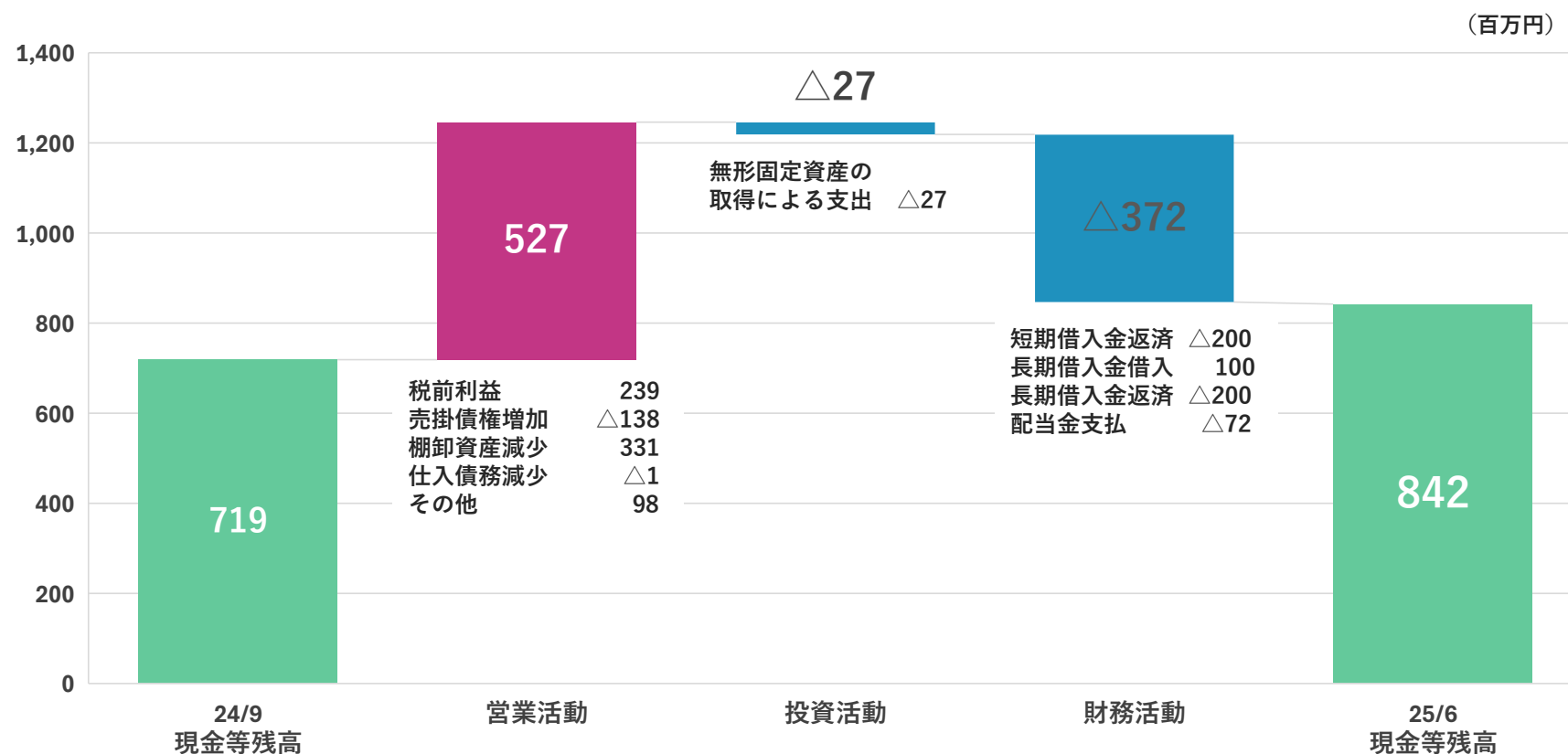
(単位：百万円)

科目		24/9末	25/9末	増減	内訳
流動資産	現金及び預金	719	842	123	売掛金 +135 電子記録債権 +5 商品 △285 未着品 △45 未収還付法人税等 △27
	受取手形・売掛金・電子債権	679	818	138	
	棚卸資産	2,056	1,725	△ 331	
	その他流動資産	97	71	△ 25	
	流動資産計	3,553	3,458	△ 94	
固定資産	有形固定資産	35	25	△ 9	繰延税金資産 △28 敷金 +12
	無形固定資産	73	55	△ 17	
	投資その他の資産	147	131	△ 15	
	固定資産計	255	212	△ 43	
資産計		3,809	3,671	△ 138	
流動負債	買掛金	167	166	△ 1	未払法人税等 +88 為替予約 △185
	短期借入金	499	299	△ 200	
	未払金	435	422	△ 13	
	その他流動負債	232	147	△ 84	
	流動負債計	1,335	1,036	△ 299	
固定負債	長期借入金	300	201	△ 99	長期借入 +100 返済 △199
	長期未払金	254	254	0	
	退職給付引当金	35	37	2	
	固定負債計	590	493	△ 96	
負債計		1,925	1,529	△ 396	
純資産	資本金	37	37	0	
	資本剰余金	273	273	0	
	利益剰余金	1,835	1,957	122	
	自己株式	△ 141	△ 141	0	
	繰延ヘッジ損益	△ 121	14	135	
	純資産計	1,883	2,141	257	
負債・純資産計		3,809	3,671	△ 138	



キャッシュ・フロー計算書

25年9月末現預金等残高は123百万円増の842百万円
借入金の期末残高は前期末から300百万円減の500百万円
税前利益の増加に加え、棚卸資産残高を大きく圧縮し、営業CFは527百万円を達成



第三者割当による自己株式の処分／2025年9月期増配

2025年11月14日開催の取締役会において、以下の事項を実施することを決議しました。

- ① 公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団への支援を目的とした第三者割当による自己株式の処分
- ② 2025年9月期 剰余金の配当（増配）

1. 第三者割当による自己株式の処分

処分の概要

- 処分株式数 普通株式200,000株
- 処分価額 1株につき1円
- 調達資金の額 200,000円
- 処分予定先 公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団
- 処分期日 未定
- その他 2025年12月25日開催予定の当社第55期定時株主総会において有利発行に係る特別決議を経ることを条件としております。

処分の理由

公益財団法人アミファ・デザイン・アート振興財団（以下、本財団）の活動を継続的・安定的に支援するため。本財団は、当社株式を取得し長期的に保有するとともに、当社株式の配当等を原資として活動いたします。

2. 2025年9月期 剰余金処分（増配）

2025年9月期の剰余金の配当については、1株当たり2円増配し、26円とします。

増配の理由

将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針とすることに加え、将来の自己株式の処分による株式価値の希薄化の懸念を払拭するため。

2025年 9 月期 業績予想

II

amifa

2026年 9 月期 業績予想

(単位：百万円)

	25/9期 実績	26/9期 業績予想	対前年比増減	
			金額	%
売上高	8,842	9,000	157	1.8 %
営業利益	270	275	4	1.7 %
経常利益	239	260	20	8.7 %
当期純利益	194	400	205	105.7 %
1株当たり 当期純利益(円/株)	64.44	132.51	68.07	105.6 %
配当(円/株)	26.00	26.00	-	
配当性向(円/株)	40.3%	19.7%	-	

26/9期通期の業績予想

- 消費者のニーズ、シーズを捉えた積極的な新企画、新商品の投入により、売上高90億円を目指す
- 商品開発力、企画提案力及び営業力をさらに強化し、商品の収益性を向上
- 需要予測精度向上による在庫水準の最適化
- 原価低減施策、物流合理化による徹底したコストダウン、生産性向上

営業利益率は275百万円を目指す

- 本社移転に伴う収入と移転に関する費用を特別損益に計上することにより、当期純利益は増益

中期経営計画

III

amifa

経営ビジョン・経営目標・重点戦略

自由なアイデアとピースフルなモノづくりで
すぐ近くのワクワクを、ひとりひとりに。

企業理念

経営ビジョン

経営目標

重点戦略

全ては笑顔のために

国内No.1ライフスタイル商品^(*)メーカーを目指し、
収益基盤の強化とブランド競争力の向上
を推進する3年間

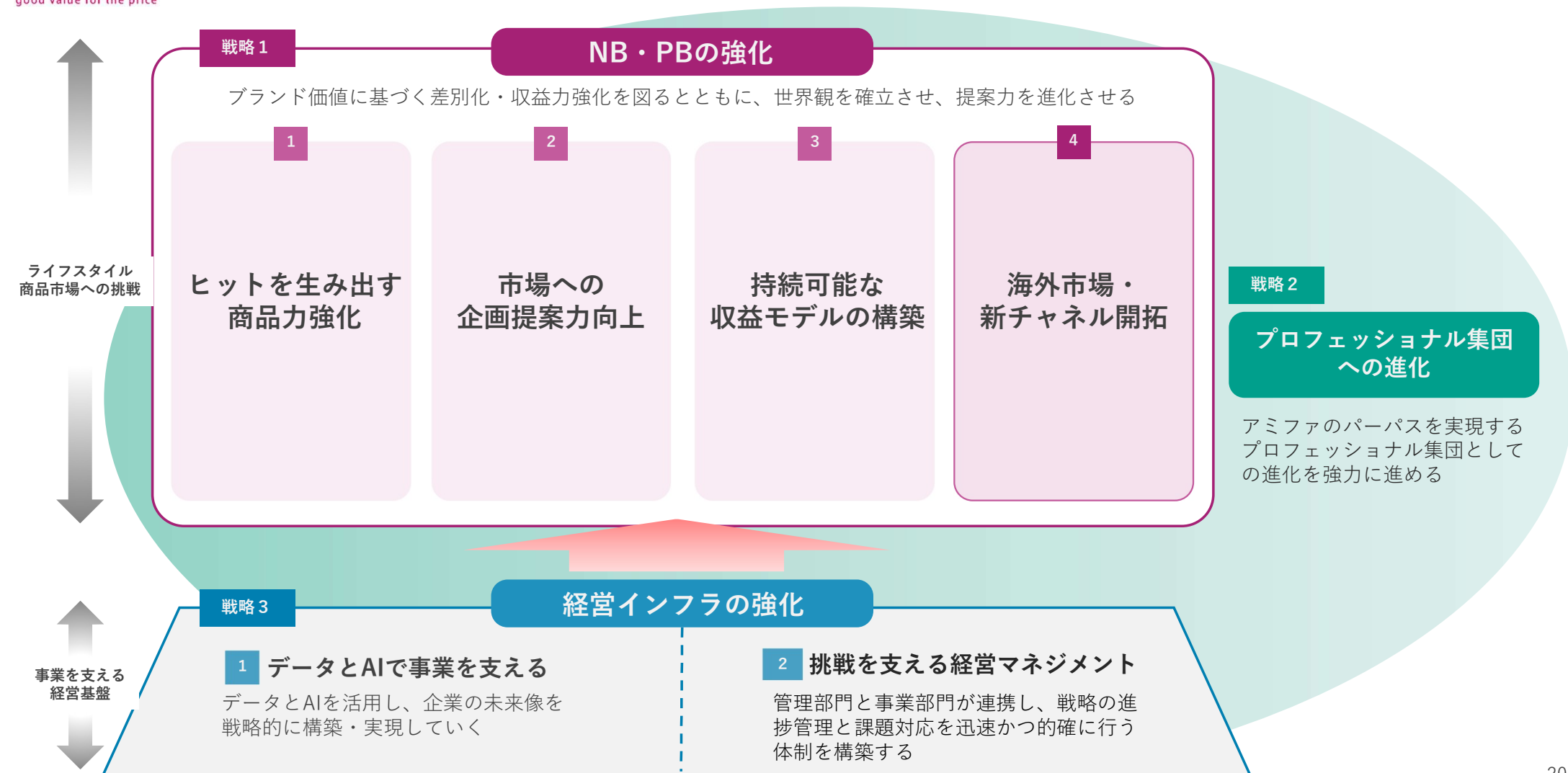
躍進のための新たな基盤づくり

戦略1. NB・PB^(*)の強化
戦略2. プロフェッショナル集団への進化
戦略3. 経営インフラの強化

(*) ライフスタイル商品：消費者の価値観・生き方・習慣・美意識などに寄り添い、生活全体のスタイルを提案・反映する商品

(*) NB：当社独自のブランド名で販売／PB：他社ブランド名で販売、企画と製造、もしくは製造のみを当社が担う

重点戦略・重点施策



株主還元方針

基本方針

将来の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な剰余金の配当を実施する

変更点

安定的な配当を行う姿勢を明確にするため、DOEを新たな指標として導入し、配当性向と併用して運用を行う。DOE水準は3%以上を目標とする。

2024/9期までの配当政策

配当性向30%



2025/9期からの配当政策

配当性向30%
+
DOE（株主資本配当率） 3%以上

25/9期 4 Qの商品トピックス

IV

amifa

ミステリアス企画

2025年7月より10JANを発売しました。定番アイテムに“未確認生物”というユニークなテーマを掛け合わせた企画。SNSでも話題となり、拡散・評価ともに高く、ブランドの新たな方向性を示すシリーズとなりました。



タイルシール&平成レトロ文具企画

「平成レトロ」トレンドを捉えた企画で、2025年7月、8月に7 JAN発売。懐かしさと今っぽさを融合させたデザインが幅広い世代に支持され、話題性・販売実績ともに高い成果を上げました。



グリム童話文具シリーズ企画

2025年8月より19JAN発売。SNSやYouTubeでの紹介投稿が多数確認され、UGCも活発。
世界観や凝った仕様への満足度が高く、ファンからの支持を強く得たシリーズです。



＜お問い合わせ先＞

経営企画室 IR担当

メールアドレス：ir@amifa.co.jp

本資料における将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証をあたえるものではありません。
予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。